

奈良市消防団だより

くまでしこ新聞



発行 奈良市消防団
 〒630-8145 奈良市八条五丁目404-1
 奈良市消防局 総務課内
☎ 0742-35-1199
編集人 奈良市消防団 広報指導分団 中村 亜矢子

消防団ぼうさいキャラバン 2021

～考えよう 話し合おう おうち時間に防災のこと～



吹奏楽団とカラーガード隊の共演



消防車両の展示



いざ、消火!



情報を伝える

昨年3月に導入された防災指導車活用の一環として消防団員やその家族、関係者対象に広報指導分団主催で防災広報イベントが開催されました。

令和3年11月13日奈良市消防局訓練場にて行われた今回のイベントでは、オープニングセレモニーとして市民等有志による吹奏楽団とカラーガード隊のコラボ演技が披露されました。会場内では普段あまり目にするこ

ない特殊車両の展示があり、その他体験ブースに紙芝居、クイズや体操を通して楽しみながら防災啓発を行いました。

イベント終盤には団員の日頃の鍛錬の披露の場としてホース延長リレーが行われ、出場選手だけでなく、応援する団員を含め大きな盛り上がりを見せていました。

体験ブースの様子 ～学ぶ防災知識～

地震コンテナでの揺れ体験
 地震体験に参加した方の中には揺れ始める前から身構え、横揺れから縦揺れになるとテーブルを握りしめている手だけでなく身体全体で身構え、声が出せない様子で揺れることが事前にわかっ



煙の中の通過体験
 気密性が高い現在の建物火災では火の怖さと同じ位一酸化炭素中毒の怖さがあります。無味無臭の一酸化炭素は広がる煙の中にあり、火災時は火からだけでなく、煙自体が有毒ガスであると考え避難することが重要です。煙が充満したテナント内を通る避難体験は、煙による視界の悪さと吸い込まない姿勢や工夫を学ぶことができました。

消火器を使う体験と消防への通報体験
 水消火器を使った体験で使った体験者が幼児が保護者と一緒に参加し、実際に消火器に触れ放水を体験することでも小さな可能性もあり、情報をもとに伝えればよいのか、実際に通報をしたことがない人にこそ体験



小さな消防士

消防服試着体験
 消防服とヘルメットを身にまとい、消防車に乗り込む子どもたちは「消防士の志」を体感し

防災広報活動 ～いろいろ～
 今回のイベントでは様々な体験ブースの他、説明するだけでは難しく感じる防災知識を紙芝居やクイズ、防災体操で楽しみながら親子参加で学ぶ機会もありました。ちょっとしたクイズでのやり取りが頭の片隅にでも残り、体操を覚えることで避難のポイントを身につけてもらえるか



楽しみながら学ぶ

イベント以外でも普段から小学校や保育園に赴き、紙芝居や劇などの防災広報活動、自治体や企業、市民への救命講習会も繰り返し行うことで、少しでも意識の中に留めてもらえるように工夫し、活動しています。

今回展示していました広報指導分団活動の軌跡をさらに向上させるように中心的活动である防災広報に取り組みます。

平城分団チーム

優勝



平城・大安寺・富雄・帯解・伏見・三笠・都跡・辰市の8分団に広報指導分団A・B・Cの3チームと急遽参加となった本部チームの計12チームからなるトーナメント制で行われたホース延長リレー。

ホースを抱えて第一走者から第四走者のリレー走、そして第五走者とのポンプ結合、火点への放水・消火までのスピードと技術を競い、チーム一体となる熱い戦いが繰り広げられました。



「優勝」メントは... 『予選通過もできず』という思いだったのでまさかまさかの優勝でした。』

《平城・富雄・都跡・広報指導分団B》の4チームによる最終決戦の末、平城分団が優勝しました。

暮らし・安全を守る 年末特別警戒出発式

令和3年12月29日、奈良市消防局訓練場にて各地区分団長及び担当機関員ほか総員51名による年末特別警戒出発式が行われました。

仲川市長より「コロナ禍で活動が困難な中、自然災害や行方不明者捜索への尽力があったことなど市民の生命・財産を守る活動への敬意を表し、年末年始の火災予防と警戒を受け、奈良警察署・奈良西警察



年末特別警戒へと出動

消防団と市民等有志による 吹奏楽団の演奏

この楽団は消防団員とその家族や友人、そして一般市民の方々の協力を得て『消防団ほっさいキアラパン2021』の為に結成されました。

楽団メンバーには普段から楽器演奏を楽しんでいる人、久しぶりに楽器に触れる人、全く演奏経験がない人もいて、まずは楽器に慣れ、楽譜を読む事から始まりまし

署・天理警察署の代表として、中西奈良警察署長からは行方不明者救助では警察と消防団が一体となった活動について触れ、消防と警察は訓練を通して防犯活動の準備が必須であると話されました。

また、他の方からは消防車が通過困難な道の整備について話がありました。出発式の後、団員たちは夜間の冷え込みの厳しい中、火災発生への警戒巡回へと各々の地域に出動しました。

火災発生時の訓練

富雄分団

令和3年11月14日、コロナ禍による自粛していた訓練が富雄第三小中学校グラウンドにて久しぶりに行われました。

金田富雄分団長の挨拶から始まり、道端市議会議員、北川富雄南自治協議会長から労いの言葉を頂き、なでしこ体操で身体を整え、放水準備の基本とホース延長の指導が行われました。小型ポンプ車4台を用意して親木副分団長の号令で始まった訓練は、防災イベントでも行われたホース延長リレー

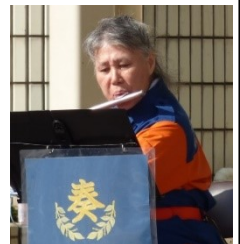
た。それぞれ、仕事や学業、家事や育児等で忙しい中、練習に時間を費やし、意欲的に取り組むことも多々あり、週に一度、共に頑張る仲間に出会える事に成長していきま

当日のステージは、まさにイベントのオープニングを飾るに相応しい、エネルギーが溢れる演奏であったと思います。この楽団はこれで解散となりますが、今後の回

今までの人生の中で「心に残る人たちがいる。我が師である故・若林正史先生と故・尚子奥様。大学4年の時にフルートの神様・巨匠マルセル・モイーズ。そして小野家の人々とのご縁があったこと。これらの出会いが私に豊かな日々をもたらしてくれた。子育ても終わり、地域の中での生活から『民生委員・児童委員』の

我が分団 自慢の「人」 広報指導分団 小野 眞智子

立場を与えられ昨年12月で15年を迎えた。この「時」の流れの中で大災害があちこちに発生し、防災のスキルを考えていた時、市民だよりの『女性消防団員募集』が目にとまり、どういう活動かもわからないままに申し込み、入団するに至った。地域の中で幼稚園や小学校での絵本の読み聞かせや高齢者の方々と幼稚園内での活動が団広報活動とマッチングし、何とか分団員としてついていくことができた。



奈良市民として、ほんの小さな活動に感謝しつつ、今まで同様よろしく願いいたします。

奈良市消防団員参加行事について
コロナウィルスまん延防止策の一環として2022年は下記のようになりました。

『出初式』
人数制限をかけ関係者のみで開催

『若草山焼き』
観光イベントは中止・縮小され、祭礼・消防団出発式・山への点火・消火のみ開催

広報指導分団の活動とこれから



私たち広報指導分団は奈良市全域から集まった女性消防団員で構成され、現在36名で活動しています。

発足当時は防災知識や経験も少なく、私たちにどんなことができるかをいつも模索していました。そして、活動要請が増える中で「もっとこうしたらいいな」を大切に活動の幅も広がっていきました。例えば、子ども向けの防災広報では人気アニメのキャラクターに扮した防災劇で子どもが興味をもって見聞きする工夫をしたり、救命講習の場だけではなかなか覚えられない応急手当の手順や防災知識をオリジナル体操にして体得してもらったり、振り返ると私たち自身も楽しんで活動してこれたように思います。

現在では、活動の中で分団員それぞれの得意分野やあふれる個性が発揮され、自信をもって積極的に活動できていることが何より嬉しく、広報指導分団の現在の活気につながっていると感じています。奈良市民の防災意識がより高まることを目指し、分団員一同元気に活動していきます。

広報指導分団 分団長 中村 亜矢子

消防団員募集中!

《問い合わせ》
奈良市消防局総務課内
TEL.0742-35-1199

奈良市消防団
HPはこちら⇒

HPでは過去に発行の新聞もご覧いただけます。

2022年、全人類に笑顔を捧ぐ



消防団員募集中

編集後記

今回の防災イベントは未だ終息とは言いえないコロナ禍の中、参加者が限定されていきましたが、時代はウィズコロナへとシフトし、安全・安心の環境下で様々なイベントが当たり前に関催されることを楽しみに今できる取り組みを継続していきます。